



<p>関教育長</p>	<p>それでは定刻がまいりましたので、ただ今から平成29年第7回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>初めに、三木委員が6月26日で任期満了となりまして、新たに近藤委員が6月27日より就任されております。すでに学校訪問等では色々お世話になっておりますが、改めまして事務局の職員への紹介も兼ねて自己紹介、ご挨拶をお願いいたします。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>皆さんこんにちは。近藤と申します。私は株式会社タイワというソフトウェアの開発販売会社で、ワークライフバランスを専門として働いております。新居浜市とは昨年のイクボス宣言の際にお世話になりまして、今回も働き方改革等のことについて、教員のことなどを色々考えたり、勉強したりしていくことができれば良いなと思っております。どうぞよろしくをお願いいたします。</p>
<p>関教育長</p>	<p>近藤委員、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>本日の会議録署名委員につきましては、伊藤委員さん、長野委員さんをお願いいたします。会期は本日限りといたします。</p> <p>平成29年第6回定例会会議録承認は、宮内委員さん、伊藤委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでははじめに私の方から一般報告を行います。 資料の2ページをご覧ください。</p> <p>6月 5日 市議会定例会本会議（・22日）  11日 愛媛お笑い健康ライブ（市民文化センター）  12日 愛媛県人権教育協議会新居浜支部代表役員会  13日 市議会定例会本会議一般質問（～15日）  16日 福祉教育委員会  18日 新居浜市将棋大会（市民文化センター）  25日 第15回日本語スピーチコンテスト  （総合福祉センター）</p> <p>7月 9日 マリン村開村式（マリnpark）  15日 愛媛県市町教育委員会連合会定期総会（八幡浜市）</p> <p>社会教育課の事業は、</p>

	6月	7日	教育委員会定例会（第6回）
		8日	公民館新任職員ネットワークセミナー （県身体障害者福祉センター）（～9日）
	15日		公民館新任館長研修会（県生涯学習センター）
	17日		青少年健全育成に関する標語の選考会 （青少年センター）
	21日		公民館活動活性化ステップアップセミナー （西条市中央公民館）
	27日		愛媛県社会教育主事等研修会
	7月	3日	平成29年度青少年健全育成標語入賞者表彰式 （青少年センター）
		6日	教育委員会定例会（第7回）
			学校教育課の事業は、
	6月	1日	管理主事・市教委学校訪問（金子小学校）
		2日	管理主事・市教委学校訪問（船木小学校）
		3日	中学校総合体育大会
		5日	管理主事・市教委学校訪問（金栄小学校）
		7日	管理主事・市教委学校訪問（多喜浜小学校） 管理主事・市教委学校訪問（船木中学校）
	13日		管理主事・市教委学校訪問（中萩小学校） 管理主事・市教委学校訪問（浮島小学校）
	15日		管理主事・市教委学校訪問（西中学校） 管理主事・市教委学校訪問（若宮小学校）
	16日		管理主事・市教委学校訪問（垣生小学校）
	19日		管理主事・市教委学校訪問（東中学校）
	20日		第1回不登校対策検討委員会（市庁舎） 管理主事・市教委学校訪問（高津小学校）
	22日		管理主事・市教委学校訪問（角野小学校）
	26日		管理主事・市教委学校訪問（泉川小学校）
	29日		管理主事・市教委学校訪問（船木中学校ひびき分校）
	30日		いじめ問題対策連絡協議会（市庁舎）
	7月	2日	中学校スポーツトップアスリート事業 （バレーボール：市民体育館）
		3日	管理主事・市教委学校訪問（惣開小学校） 管理主事・市教委学校訪問（角野中学校）

	<p>4日 管理主事・市教委学校訪問（大生院小学校）</p> <p>5日 管理主事・市教委学校訪問（大生院中学校）</p> <p>7日 新居浜市中学校弁論大会（文化センター）</p> <p>10日 第1回幼保小連携推進協議会（市庁舎）</p> <p>20日 公立幼稚園、小・中学校第1学期終業式</p> <p>22日 第69回県中学校総合体育大会（～27日）</p> <p>24日 第53回新居浜市小学校水泳記録会 （中萩、新居浜小学校）</p> <p>27日 NHK学校音楽コンクール小学校の部 （市民文化センター）</p> <p>28日 NHK学校音楽コンクール中学校の部 （市民文化センター）</p> <p>30日 四国中学校総合体育大会壮行式 （市民文化センター）</p> <p>スポーツ振興課の事業は、</p> <p>6月 3日 第11回新居浜市ジュニアカップ （河川敷）（～4日）＜県内外40チーム参加＞</p> <p>4日 あつまれ！どすこい ちゃんこスクール （武徳殿）＜参加申込者数50名＞</p> <p>7日 第1回新居浜市民マラソン実行委員会 （市民文化センター）</p> <p>10日 トップアスリート事業（～11日） （バドミントン：日本代表コーチ・舛田圭太氏）</p> <p>17日 新居浜市スポーツ少年団市長旗大会（夏季大会） （河川敷）＜市内16チーム参加＞</p> <p>18日 市制施行80周年記念事業 「わんぱく相撲にいハマ場所」（泉川小学校） ＜参加申込者数71名＞</p> <p>20日 東雲市民プールオープン</p> <p>24日 新居浜市スポーツ推進委員協議会 川西地区ブロック会</p> <p>7月 1日 トップアスリート事業（～2日） （バレーボール：パナソニックパンサーズ） 新居浜市スポーツ推進委員協議会 川東地区ブロック会</p>
--	---

	<p>3日 新居浜スワローズ 全国大会（第25回ヤングリーグ選手権大会・第5回ヤングリーグジュニア選手権大会）出場 市長・教育長報告（市長応接室）</p> <p>8日 新居浜市スポーツ推進委員協議会 上部地区ブロック会</p> <p>10日 市制施行80周年記念事業 「ドリーム・ベースボール」第2回説明会（文化センター）</p> <p>12日 中萩JSS 全日本小学生男子ソフトボール大会 出場市長・教育長報告（市長応接室）</p> <p>17日 ドリーム・ベースボール開催状況先進地視察（広島県府中市）</p> <p>18日 新居浜リトルシニア リトルリーグ全国大会出場 市長・教育長報告（市長応接室）</p> <p>29日 愛媛FCホームゲーム マッチシティ（新居浜市の日）（ニンジニアスタジアム）</p> <p>文化振興課の事業は、</p> <p>6月16日 橋本信氏 紺綬褒賞伝達式</p> <p>25日 「東京富士美術館コレクション美の東西」終了 入場者総数 24,981名</p> <p>30日 NHK公開放送「ふるさと自慢うた自慢」開催</p> <p>7月 7日 「新居浜が生んだジブリの動画家近藤勝也展」 開展式</p> <p>8日 「新居浜が生んだジブリの動画家近藤勝也展」開催 （～9月10日）</p> <p>15日 こども絵画教室（あかがねミュージアム） 本市出身 宮田翁輔氏の指導</p> <p>30日 ふるさとラボ講演会「触れて考える正光山古墳」 （愛媛大学 吉田准教授）</p> <p>発達支援課の事業は、</p> <p>7月 1日 第1回特別支援教育研修会（別子銅山記念図書館）</p> <p>5日 通級による指導専門性授業研修会及び 個別支援部会（宮西小学校）</p> <p>7日 第1回地域発達支援協議会</p>
--	--

	<p>(こども発達支援センター)</p> <p>21日 発達障がい支援者のための実践セミナー (～23日)(こども発達支援センター、 市民文化センター視聴覚室)</p> <p>25日 第2回小中学校特別支援教育コーディネーター 研修会兼心理アセスメント教室(～26日) (文化振興会館)</p> <p>28日 親子手作り教室(総合福祉センター)</p> <p>31日 特別支援教育講演会(市民文化センター大ホール)</p> <p>学校給食課の事業は、</p> <p>6月 2日 2学期給食物資(魚介類)審査会(泉川公民館) 9日 6月度栄養教職員会(学校給食センター)</p> <p>7月 7日 7月度栄養教職員会(学校給食センター) 19日 1学期給食最終日 25日 平成29年度新居浜市学校給食研修会 (市民文化センター中ホール) 下旬 平成29年度第2回新居浜市学校給食会理事会 (泉川公民館)</p> <p>別子銅山記念図書館の事業は、</p> <p>5月 1日 第58回こどもの読書週間事業(～8月20日) 『新居浜市立図書館こども読書通帳マラソン』 を実施。優秀者に表彰状授与(8月27日予定)</p> <p>6月 6日 ブックスタート事業 保健センター5か月児検診(・7日)</p> <p>7月 4日 ブックスタート事業 保健センター5か月児検診(・5日)</p> <p>○お話し会</p> <p>6月 1日 乳幼児(0歳～3歳)向けお話し会 104名参加 14日 幼児向けお話し会 49名参加(園児含む) 17日 小学生向けお話し会 16名参加 28日 幼児向けお話し会 2名参加</p> <p>7月 6日 乳幼児(0歳～3歳)向けお話し会 12日 幼児向けお話し会 15日 小学生向けお話し会</p>
--	---

	<p>26日 幼児向けお話し会</p> <p>○講座・講演会</p> <p>6月10日 健康・医療情報講演会 『日常生活での女性の健康管理』 講師：愛媛労災病院 院長・宮内文久</p> <p>21日 第32回健康講座『糖尿病と眼の病気』 講師：十全総合病院 眼科医・木村徹</p> <p>25日 別子銅山を読む・第2回『鼓銅図録』</p> <p>7月 6日 『あなたにも今すぐできる詐欺対策』 ～図書館・警察・銀行タイアップセミナー～ 講師：(株)伊予銀行、協力：新居浜警察署</p> <p>22日 『おはなし屋えっちゃんのおはなし会』 文部科学省委託事業「図書館でつなぐ本と人の輪支 援事業」対象：幼児～小学生（参加自由・申込不要）</p> <p>○ロビー展示</p> <p>5月30日 『からだの健康は、お口から！』（～6月2日） （保健センター）</p> <p>6月 1日 『水道週間パネル展』（～7日）（水道局）</p> <p>9日 『6月は食育月間！』（～16日）（保健センター）</p> <p>7月 4日 『みんなで愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛FCを 応援しよう！』（～18日）（スポーツ振興課）</p> <p>21日 『予防接種は受けられましたか？』（～28日） （保健センター）</p> <p>29日 『男女共同参画週間パネル展』（～8月4日） （男女共同参画課）</p> <p>○テーマ展示</p> <p>一般展示 『環境問題を考えてみませんか？』 児童展示 『飼ってみよう、育ててみよう』</p> <p>○ケース展示</p> <p>『鼓銅図録』</p> <p>○お話し会</p> <p>6日 乳幼児（0歳～3歳）向けお話し会</p> <p>12日 幼児向けお話し会</p> <p>15日 小学生向けお話し会</p> <p>26日 幼児向けお話し会</p> <p>○夏休み行事 =夏休みは図書館へ行こう！=</p>
--	---

	<p>7月23日 『図書館（ライブラリー）&amp;来ぶらり ～歴史を歩く～』</p> <p>27日 『子ども一日図書館員 ～読書感想文にちょうせん！～』</p> <p>28日 『夏休み子ども図書館探検隊と鉱物を使ってオリジナル万華鏡を作ろう』</p> <p>ただいまの教育長一般報告で、何かご質問やご意見等はございませんか。</p> <p>学校訪問の中で何か感じられたことがございましたら、皆さんで共有できたらいいかと思しますので、伊藤委員さんからお願いいたします。</p> <p>今年も学校訪問させていただきまして、それぞれの学校が素晴らしく先生方も一生懸命取り組まれていらっしゃるなというところを拝見させていただいたのですが、ICT導入状況についてお聞きしたところによると、全国で愛媛県が一番進んでおらず、その愛媛県の中でも新居浜市が一番進んでないという発表をされておられました。そういったことをお聞きしたものですから、これからの取組はやはりもう少しテンポを速く進めて、子ども達がそういったところで他の市に比べて教育の遅れが出るということがないように私達も一生懸命勉強させていただきながら皆さんと一緒にやっていかなければいけないなと痛感いたしました。トイレのことなど、様々なことが市議会の中でも質問され、色んな課題があるようですが、早く優先順位をつけて子ども達のために進めていかなければいけないと感じた次第です。</p>
伊藤委員	
関教育長	<p>宮内委員お願いいたします。</p>
宮内委員	<p>学校訪問に行かせていただこうと思っていたのですが、病院の業務の関係で、結果的に1回も参加することができませんでした。まことに申し訳ございませんでした。</p>
関教育長	<p>長野委員お願いいたします。</p>
長野委員	<p>たくさんの学校を見せていただきまして、新居浜市は子ども達</p>



	<p>も先生方も非常に落ち着いて学校の中で学習に取り組んでいる  などと思い安心いたしました。今年特に感じたのは、午後の参観を  した際に、湿度と気温が本当に高くこの気象状況の中で子どもや  先生はもっと大変だろうなということです。費用もかかることで  すし、エアコンはなかなか教室にまではまわらないということ  はありますが、地球温暖化などで気象状況は昔とは随分変わって  きており、昔はエアコンはぜいたく品の類でしたが、今は必需品  になってきて、松山でも順次教室にエアコンがついております  し、これは先の話ではなくて、近い将来に順々にでも入れていっ  て、より子ども達が集中をして学習に取り組める環境にしていく  べきだと思います。耐震にも随分お金がかかり、そして色々機器  を揃えるのにも費用がかかり、またエアコンにまでと思うかもし  れませんが、やっぱり実際に足を運んでみて、そこでずっと学習  している子どもや先生達のことを考えますと、できるだけ早く真  剣に現実味を帯びたかたちで計画を立てていただきたいな、と今  年は特に感じましたのでよろしく願いいたします。</p>
<p>関教育長</p>	<p>近藤委員お願いいたします。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>最後に3校ほどまわらせていただいて、初めて見る事初めて  聞くことばかりでしたので、現場の先生方は普段こんなに子ども  達のために色々してくださっているのだな、と思ったと同時に台  風が来そうになると、教育委員会の方はこんなに大変なのだ  なということもよく分かりました。色々を見せていただくなかで先生  の授業の準備というものはとても大変なのだろうな、というこ  とを感じました。ICTを導入することによって、先生方がもう少  し子どもと触れ合える時間が増えて、かつ質の高い授業ができる  ための準備ができる環境を整えたいのだろうと思いました。</p> <p>また、先ほど長野委員がおっしゃいましたが、エアコンのこ  とは、私も小学生の子どもがいる身でして、来年中学校に上がりま  すので、このような環境で果たして集中して勉強ができるのだら  うかということは非常に疑問に思いましたし、また先生方も落ち  ついて体調を保ちながら授業を長丁場できるのだらうかと思  いました。あと、英語の授業を見せていただいた際にALTの先生  が活躍する場面をもう少し増やせないだろうかと思いました。A  LTの先生がもう少し主体的に授業ができる環境があれば、もっ</p>

<p>関教育長</p>	<p>と子ども達が英語に自由に触れあう機会が増えるのではないかな、と思いながら見させていただきました。</p> <p>今、色々皆さんから意見が出ましたが、一つはICTの有効活用、もう一つはエアコン等の夏場の学校の環境整備、そしてトイレ、トイレは今回泉川小学校の南棟が整備されましたので、よけいにその差が大きくなったような気がするのですが、他にも先ほど言った英語教育なども課題になってくるような気がします。それをどうしようなかたちで今後計画的に目標設定してそこにたどり着くのか、それを何カ年でやるのか、どういう順番でやるのか、その辺のプランニングが今非常に大事なような気がします。新居浜の財源の中で全部をいきなりやり遂げるといことはなかなか難しい気もしますので、その中にプライオリティを付けざるを得ないような気もします。それをきちんと議論したうえで決めていく必要があるかと思いますので、できればこの教育委員会の場において、今後より密な議論をして事務局の方からも実施案を提示してもらってそれをみんなで煮詰めていくような作業に取り組みたいと思います。そのような方向性で今後いきたいと思いますが、かまいませんでしょうか。研修も予定したいと思いますので、できればそのようなテーマに沿った研修を深めながら、推進していきたいと思います。</p> <p>他に何かございませんでしょうか。</p> <p>次に議案審議に移ります。本日の議案は第39号と第40号の2議案でございますが、どちらも人事案件であり、新居浜市教育委員会会議規則第15条の規定により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>
<p>関教育長</p>	<p>ご異議がないようですので、最後に非公開で審議させていただきます。</p> <p>それでは、いじめ、不登校等生徒指導関係に移ります。事務局から説明をお願いいたします。</p>

高橋次長	<p>お手元の生徒指導関係資料をご覧ください。</p> <p>&lt;資料に基づき説明&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 不登校について</li> <li>2 いじめについて</li> <li>3 交通事故について</li> <li>4 不審者情報</li> </ol>
関教育長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明について、何かご質問やご意見等はございませんか。</p>
長野委員	<p>不登校の資料で、黄色や赤で印がついているものがあると思いますが、赤の印がついているのは全欠ということで、登校できていないということですよ。</p>
高橋次長	<p>はい、そうです。</p>
長野委員	<p>こういう子ども達と担任の先生なり学校の担当者は接触はできているのでしょうか。</p>
高橋次長	<p>担任の先生が必ず家庭訪問をしておりますのが、中には会えないような家があって、それについては昨年導入したスクールソーシャルワーカー等を使って学級担任と同行しながら、どうかたちをとると接触できるかということを考えております。例えば、保護者に連絡をとっても連絡がとれないという事案がございましたが、その子が出掛けている先、そういうところに文書で学校行事を連絡しておくというようなことをしましたら、それが功を奏したのか今回登校できたということがございました。</p> <p>昨日が締め切りであがってきた報告ですので、また精査していきたいとは思いますが、会えないところは福祉的な専門家も活用しながら接触を試みるというような取組をしております。</p>
長野委員	<p>新しく担任になった先生など、今から人間関係を作っていかなければいけないという時、そこがうまくいくと良い兆しになっていくかなという気はするので、今言われたような様々な方法を試みていただいて、新しい繋がりを少しずつ築きながら子</p>

<p>関教育長</p>	<p>も達が学校の方に向いていくように教育委員会からもご指導いただいたらと思います。</p> <p>他にございませんか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>不登校についてですが、あるひとつの小学校の児童がそのままあがり、ひとつの中学校に通うことになる場合、不登校が多いというのは地域的な確執なのかなと考えられるのですが、一方それぞれの校区の小学校では不登校者は少ないのに中学校になって不登校が大幅に増えてくるということは該当の中学校に何か問題があるのでしょうか。あるいは学校の規模が大きすぎるだとか、何か中学校特有の問題があるのでしょうか。そこまでは考えすぎなのではないでしょうか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>軽々に結論付けてしまうことはなかなかできないのですが、ある中学校の特徴は複数の小学校からきているということで環境面の変化というのもひとつの要因の中にあると考えられます。そのために人間関係の構築の難しさ、例えば結構部活動が盛んな学校ですと部活動を通した人間関係というようなことも要因の一つに挙げられるのかなと思います。</p> <p>ただ学校訪問をした該当の中学校では、3学年ともたいへん落ち着いていて、子どもも素直です。不登校の生徒については、【ウ 無気力】【エ 不安等の情緒的混乱】が目立つので、家にこもってしまう部分というのがあるのかなと思います。お休みしているお子さんは決して非行系で休んでいるわけではなく、また誰かから攻撃されているということでもなく、何かの理由で家にこもってしまうように感じております。この地域は特に地域をあげて色々と子ども達の支援をさせていただいている地域ですので、一般的にこういう傾向があつて不登校が多いというのはなかなか見えにくいところではあります。</p>
<p>関教育長</p>	<p>少し補足ですが、今日たまたま該当の中学校のケースを矢野指導主幹から聞いていたのですが、今宮内先生がおっしゃったようにこの資料に載っている2年生の子達は小学校から不登校傾向ではあつたようです。わりと家庭の方で学校に行かなくてもいいというような、親が無頓着というケースがこの中にいくつかあ</p>

<p>関教育長</p>	<p>るようで、親と一緒に夜中までゲームして子どもは学校に行けないという家庭も中にはあると聞きました。人数的に言えば少数なのですが、今年は学校教育課の指導主幹も増員しておりますので、出来れば学校と指導主幹もタイアップしながら、個別形成の対応も検討して、その中に先ほど申しましたスクールカウンセラー的な福祉的な人も関与してもらうような方向で臨んでいきたいなと思っております。</p> <p>他に何かございませんでしょうか。</p> <p>その他全般で、各課の方から教育委員の皆さんに情報提供しておく事項等はございませんか。</p>
<p>三沢総括次長兼社会教育課長</p>	<p>社会教育課です。</p> <p>お手元に「新居浜市男女共同参画推進条例」という資料があるかと思います。この条例の中に、「第21条 男女共同参画を推進するため、新居浜市男女共同参画審議会を置きます。」という規定があるのですが、6月26日に任期満了となりました三木委員さんがこちらの審議会の委員をされておりました。三木委員さんが審議会委員をされていたものは他にも3件あり、それらについては新たに就任された近藤委員さんをお願いすることができたのですが、この男女共同参画審議会委員だけはすでに近藤委員さんは第5号委員の方で委員さんになっておりました。この審議会委員は教育関係者の委員が入らないといけないということで教育委員さんから出てもらう必要があるようですので、教育委員さんの中で協議していただいて委員になっていただきたいというお願いです。</p> <p>この審議会についてですが、第21条の中の「2 審議会は、市長の諮問に応じ、男女共同参画の推進に関する基本的かつ総合的な施策及び重要事項について審議します。」「3 審議会は、男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について、必要に応じて調査し、市長に意見を述べることができます。」この2つを主な内容としており、具体的には長期の計画で男女共同参画推進計画というものを作っているのですが、その見直しをする際に年に何回か会があるということを知っております。</p> <p>今回お願いする委員さんの任期は平成30年6月30日までとなっております、この期間については現在のところ計画見直しの審</p>

	<p>議はないと聞いております。</p> <p>この委員についてお願いできたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
関教育長	<p>確認ですが、この委員は20名以内の人員なので補充しないという選択肢もあるのですか。近藤委員さんに両方の立ち位置で教育委員の代表としても任に当たってもらう、というのは選択肢としてありますか。</p>
三沢総括次長兼社会教育課長	<p>第2条で委員は20名以内ということになっておりますし、それぞれの第何号委員というのも何名という規定はありませんので、そういう選択もあるかと思います。</p>
宮内委員	<p>現在のこちらの委員の男女構成比を教えてください。</p>
三沢総括次長兼社会教育課長	<p>現在20名おまして三木委員さんを除く19名のうち14名が女性、5名が男性となっております。</p>
宮内委員	<p>男女共同参画ですので、女性の声を反映するために長野委員さんをお願いするのが良いと思ったのですが、こんなに女性が多いのですね。</p>
関教育長	<p>これは向こうから要請されているのですよね。</p>
岡部社会教育課副課長	<p>はい、出して欲しいという話がありました。今、宮内委員さんがおっしゃったように女性の割合が非常に高いので、男性も大歓迎ということです。</p>
宮内委員	<p>私は伊藤委員さんを推薦いたします。</p>
関教育長	<p>お願いしてもよろしいでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>はい、喜んで参加させていただきます。</p>
関教育長	<p>ありがとうございます。よろしくお願いいたします。</p>

<p>高橋学校教育課長</p>	<p>他に何かございますか。</p> <p>学校教育課でございます。配布資料一覧の3番目に書かれております「新居浜市立別子中学校寄宿舎整備運営事業スケジュール（予定）について」というものをご覧ください。別子中学校の寄宿舎の整備についてですが、先月の6月7日の教育委員会定例会で報告させていただいた以降の経過につきまして報告させていただきます。</p> <p>6月に開催されました市議会定例会この6月15日の一般質問の後に、住友林業株式会社との工事請負契約を追加提案いたしまして、22日の本会議で議決をいただいたところでございます。市議会の議決を受けまして28日には住友林業と寄宿舎の運営会社となりますM&amp;Mという会社の同席のもとで、別子校区の自治会の会長さん、学校がある保土野地域在住の方、別子在住の在校生の保護者の方を対象とした説明会をいたしまして、また現在バス通学をしております中学1、2年生それぞれ5名ずつ計10名の生徒がおりますが、7月2日にはその生徒と保護者を対象とした説明会を開催したところでございます。</p> <p>そのスケジュールにもあるのですが、今現在は住友林業につきまして事前調査から始まりまして基本設計というところで、基本設計も一旦出たのですが、一部手直しをしていただいております。速やかに実施設計に移っていただくなかで、建築確認等の手続を経まして8月の下旬から本格的な工事に着手という予定でございます。いずれにしても平成30年3月15日までの工期で寄宿舎の建設をするということで、平成30年3月には寄宿舎の試運転と運営準備を行いまして4月1日から業務開始予定としております。</p> <p>続いてもう一つ、配布資料の4番に書かれておりますが、5月の末と6月3日にありました新居浜市中学総体の試合結果表がお手元にあるかと思っておりますのでお目通しください。</p> <p>それと、配布資料の5番目にあります「学校図書館支援センター便り」をお目通しください。No. 14でございます。左上は児童生徒が学びを深めるために学校図書館の多様な資料を使い情報収集をすることや、教員の授業づくり・教材準備を支えるという学校図書館の役割が一層重要となっておりますなかで、本市の小学校では学校司書による授業支援が平成28年度3,178</p>
-----------------	---

<p>関教育長</p>	<p>件ということで3,000件を超えまして、学校図書館の活用が活性化しているということでございます。</p> <p>左下には6月14日惣開小学校で実施されました、学校司書の研修会の様子を掲載しております。</p> <p>右半分になりますが、5月31日に神郷小学校で実施されました学校司書による授業支援の様子を紹介しておりますので、お目通しいただければと思います。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ただ今の件、特に一番初めの別子寄宿舍建設等の件について何かご質問はございませんか。</p> <p>各課の方から何かございませんか。</p>
<p>曾我部次長兼文化振興課長</p>	<p>明後日から始まりますジブリの展覧会ですが、今日少し見に行きましたらすごく良い展示がたくさんありましたので、是非皆さまにご周知いただいてご参加いただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>関教育長</p>	<p>委員の皆さんにはご案内しているのですよね。</p>
<p>曾我部次長兼文化振興課長</p>	<p>はい、開会式はご案内差し上げております。長野委員さんと近藤委員さんにご出席いただけますが、伊藤委員さんと宮内委員さんはご欠席と伺っております。</p>
<p>関教育長</p>	<p>お二人にはまた別の日にご覧いただければと思います。</p> <p>他には特にございませんか。</p> <p>では私の方から一件だけ、先ほども話が出ましたように例えばICTであったりエアコンであったりトイレであったり、そういったものについて毎年行っております研修の中で先進的な取組を学びたいと思うのですが、委員のみなさまにこのテーマで研修をしたいというものを決めていただけますと、それに沿った一番良い事例を探しやすいのですが、何かこれを学びたいという思いがございましたら教えていただけないでしょうか。</p> <p>去年であればコミュニティ・スクール等をテーマにして佐賀の多久市等に訪問したのですが、今年はICT、エアコン、トイレ</p>



<p>長野委員</p>	<p>のどれかはやらなければいけないという認識を持っていますので、やるのであればロールモデルになるようなところを事前に見られると良いかなと思ひまして。できればICTの整備や具体的なソフト面での活用方法など、そういった事が学べれば良いのかなとは思ひのですが、他に何かテーマがございましたらおっしゃっていただいて、それに沿ってどこが良いか全国的に探してみようと思ひております。長野委員は何かございますか。放課後子ども教室とか、そういう思ひもあるかもしれませんが。</p> <p>それはもちろんありますが、ICTは授業に直接関わることですので良いテーマだと思ひます。それも含めたうえでの教育環境、トイレやエアコンなども全て導入している学校は全国のどこかの学校にあると思ひますので、施設そのものを新しい視点で考えて、当然そこにはICTの活用が入っていると思ひますし、点でICTだけというのではなくて、それも含めて先進的な学校や施設があれば見てみたいと思ひます。</p>
<p>関教育長</p>	<p>もし、ターゲットとしてここが良いというところがございましたら、先にそこをあたってみたいと思ひます。なければ我々にご一任していただければと思ひますが、任せていただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>関教育長</p>	<p>それでは、ある程度ターゲットを定めて向こうの日程的なものも聞いたうえで、またお諮りしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>他に何かございますか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>英語教育についてお尋ねします。別子中学校では英検2級や3級をとることを目標に英語教育を行いたいということだったと思ひのですが、これから先大学入試でも英検が使われるということになっておりますし、英検に対する親しみを込めて、例えば他の中学校でも英検3級を目標にみんなで頑張ろう、というような取組はあるのでしょうか。</p>

<p>高橋次長</p>	<p>1 番目に別子中学校で実際に英検を受けることを目標に行動されているのかどうか、2 番目に別子中学校以外の中学校で英検受験に対する積極的な取組は行われるのか、あるいは行われているのかを教えてください。</p> <p>まず別子中学校ですが、入学して1年経った現在2年生のうち一人は準2級の1次試験を突破しましたので2次試験を受けるところです。残り4人は全員3級を合格したので、初期の目的を一年早く達成しております。このように別子については英検に向けての取組をしておりますので、この先も望ましい結果が出てくるのではないかなと思っております。</p> <p>別子中以外ですが、文部科学省が言っているのが、中学校卒業までに英検3級合格者の割合をたしか50%だったかと思うのですが、数値目標としてはそうした目標があります。学校を会場校にして先生が希望を募って英語検定を受けさせておりますので、その数がどんどん拡大していけば好ましいと思っております。</p> <p>あわせて、なかなか厳しいのですが新しい学習指導要領になりますと中学校の先生は英語の授業は原則ほとんど英語でやるということになりますので、先生方に対して求められる能力が準1級レベルとなります。それを50%超えることを教員に対する数値目標として文部科学省は掲げているということで、去年、今年と研修参加割り当てがありまして、勉強しているというのが現状でございます。英語教育については次の指導要領で小学校5、6年生に外国語が入り、現在行っている外国語活動は3、4年生が行うということで、宮内委員が言われていましたように、英語教育に対しての取組が今後さらに加速していくというような流れとなっております。</p> <p>小学校教諭に対しての英語能力のスキルアップにつきましては、実態としてはALTが行ったり、英語指導員が行ったりしてTTというかたちで授業をしますので、それが研修の一環になっているとは思いますが、新居浜市として独自の研修会をしているというのはないのですが、外国語活動等の指導についての希望専科の研修会等は県の方で用意しております。あと、各学校が夏休み等に夏季研修会ということで自主的に校内研修をしているという事案はあります。新居浜市は今回ALTも増えましたし、英語</p>
-------------	---

<p>長野委員</p>	<p>指導員を3名雇用しております。授業を一緒にするというのがスキルアップにはつながっており研修になっていると思います。</p> <p>将来的なことにはなるかと思うのですが、小学校から中学校へ、中学校から小学校へという人事異動が今年もたくさんあったかと思うのですが、例えば中学校の英語の教員免許を持っていて小学校の免許も持っていたら、小学校の方へ勤務するということも可能にはなってくるのでしょうか。英語が小学校5、6年生の教科になった際に、中学校の英語の先生で小学校教員免許があれば小学校に勤務するという人事も出てくるのでしょうか。それともやはり、その場合は中学校優先になるのでしょうか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>県の方も、英語の免許状や英検を持っていたりする分には優遇措置を行っており、実質的に英語の指導ができる人材を増やそうというのは取り組んでいるところなのですが、あとは配置されている英語の免許状を持っている先生の数と本人が小学校の教員としてやりたいという思いを持っているのか、中学校の教員としてやりたいという思いを持っているのか、その辺りにもよりますね。本人の希望を無視して人事異動がなされていくかどうかというのは、少し慎重になった方がいいのかなとは思いますが、たちまち英語の授業をしなくてはいけない時期が迫っておりますので、当面は小学校の免許状で英語の授業もしていくことになると思います。</p> <p>専門性のある方が増えて自信を持って5、6年生の英語について指導ができるようになればそれは望ましいと思いますので、底辺が拡大したり、免許の認定講習等で英語の専門的な勉強もプラスして取っていったりするようなことが広がれば、それはありがたいかなとは思いますが、お答えになりましたでしょうか。</p>
<p>長野委員</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>小学校の外国語活動の授業では、ALTの助けも借りながら一生懸命取り組んで頑張っているなと思うのですが、やはり率直に言って小中学校の英語のレベル差というのは明らかだと思います。</p> <p>将来的に英語が5、6年生の教科になった際に、文科省がどの程度を望んで、どの程度の勉強をするのかというのがはっきり見</p>

	<p>えてこないのですが、もしもより重視してやるのであれば今すぐでないにしても、小学校の英語についてもある程度の専門性のある先生を配置するというのも大事になってくるのではないかなと思います。</p> <p>これは上の問題にはなりますが、小学校の先生がたくさん教科を持ってやっている中に英語も入れるというのは大変過酷な気もしますし、まだこれから先のことにはなるのですが、英語の教員が足りないのであれば、英語の免許を持っている方を多く採用するとか、色々考えて取り組んでいただかないかなと思います。</p>
高橋次長	おっしゃるところは分かります。
関教育長	小学校は専科にはならないのですよね。
高橋次長	<p>その辺は少し調べてみなければ分からないのですが、理科については中学校の理科しか持っていない先生が理科だけを教えるために小学校で理科の授業をしたり、音楽も同様に中学校の免許状しかないけれど、音楽だけをしたりするという事案がありますので、英語についてもそういうことが可能かどうかというのは調べてみようかと思います。</p>
関教育長	<p>専科対応ができるのであれば良いのですがね。</p> <p>あと、これは今からの話になるかと思いますが、資質を高めようとする小学校の先生がいればそれに対してなんらかの支援をするというのは市教委としてできるのですかね。</p>
高橋次長	指導法の研究の研修を開いたり、今日も佐賀の方から先生呼んで研修をしておりますが、そうした力のある先生を外部から招へいして研修を受けていただいたりするなどの支援は市教委で十分できると思います。
宮内委員	例えば、新居浜市の教育委員会が認定試験といったらおこがましいですが、研修を何時間か夏休みにやって新居浜市教育委員会認定の小学校英語スペシャリストというように、教育委員会が研修を行って認定するというのも一つかなと思うのですが。

<p>関教育長</p>	<p>他に何か意見はございませんか。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>質問なのですが、ALTの先生はここに来るまでに日本に来てから色々研修を受けたりしていると思うのですが、第2外国語としての英語の教授法とかを学んでいる先生がいるのかというのが1点と、先ほどおっしゃっていた夏季研修として英語を勉強されている先生方は、単発で教え方を学ぶということなのか、根本的にこういうふう小学生に教えたなら上手く子どもたちの中に英語が入っていきますよ、というような研修をしているのか、ということを知りたいのです。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>新居浜市が招へいしているALTは11名すべてJETプログラムというプログラムで、海外で選抜試験を受けて入ってきている、全て英語を母国語とする外国の先生達です。さらに新居浜市の方は小学校の先生とコミュニケーションを取るために多少日本語ができた方が望ましいので、そうしたことも希望条件に加えております。</p> <p>第2外国語として教授する専門性があるかということについては、これはおそらくないものと思います。英語を母国語とするというようなことで、彼らの専門は経済等、それぞれメジャーは別に持っておりますので、いわゆる語学指導のために来るのですが、それを専門としている人ではありません。</p> <p>それから、夏休みの教授法という話ですが先生方が夏に色々な校内研修を自主的に行うのですが、それは全員参加で行うケースが多く、例えば近々外国語の授業も始まるし、外国語活動も3、4年生になるので、その辺について勉強してみよう、ということでは主には教授法というかたちのこういうふうにしたら上手くいくというような研修であることが多いのではないかと思います。これは市教委がこうなさいというものではないので、それぞれの学校がそれぞれの学校の実態に応じて色々計画されるものと思っております。以前に新居浜市に外国語活動が入るときにも同じようにそれぞれ小学校で夏季研修というかたちで、おそらく長野委員さんも校長先生の時にそういった研修をされたかと思っております。英語の教員ではない小学校の先生が研修で英語能力をレベルアップさせると言っても一朝一夕に身に付くものではなく、外</p>

<p>長野委員</p>	<p>国語活動であれば英語の教員レベルでなくても、というところはあるのですが、外国語になってくるとかなり専門性も必要になってくるのかなとは感じております。ですので、どちらかといいますと教授法をメインとしたような研修会になるのではないかと考えております。それと合わせて5、6年生の外国語では何を教えるかというのは、新しい学習指導要領のなかで指導要領が示されると指導書というものが出されますので、その辺りを詳しく読み込んで、小学校で教えるべき事柄を細かく勉強するというような、教える内容が何かということの勉強もあわせて必要になるのかなと思います。</p> <p>教科の学習指導要領の範囲の内容など教育課程については県の教育委員会が毎年説明会を行っておりまして、今年度も小学校、中学校別に各地方局ごとにそうした説明会がございます。教員の3分の1ずつ受講することになっておりまして、一応3年で全ての教員が受け終わるということになっております。それが県の教育委員会が主催する研修会です。</p> <p>さきほど小学校と中学校のレベルの問題をお話しましたが、語弊があってはいけないのであえて言います。今次長さんに言っていたように、以前に外国語活動が入ってくる時はどのようにやるかということで学校の中も非常にドタバタといたしまして、率直に言うとおよび腰で、こうだろうか、ああだろうかと言いながらALTや英語指導員の先生にほとんどお願いして任せて頼ってという風潮が多かったです。ですが、それを何年かやってきてここ1、2年学校を見せていただくと、小学校の先生も初めの頃とは随分違ってどの学校も非常に前向きに頑張っており組まれていると感じます。中学校とはかなり違っているとは思いますが、やはりこれは時間も必要なのかなと思います。そのような文化とさえいえるのですかね、小学校にも英語が入ってくるということを定着させるのにある程度の時間は必要かなと思います。ですので、それに対して市としても教育委員会としても学校としても色々支援して、できる事はどんどん手伝って、早く全ての先生が馴染んでいくように進めていくことが今の時期には大切かなと思います。</p> <p>高橋次長</p> <p>一点だけ補足させていただきます。当時外国語活動が入った頃</p>
-------------	--

	<p>と比べて一番の大きな違いはデジタル教科書、先ほどから話題になっておりますICTが導入されていることです。これは非常に有力な武器であって、その中にはネイティブの英語も入っておりますし、ふんだんに英語に触れる事ができます。むしろそうしたICTの機器を使いこなして指導していくというのが、小学校の先生が英語の授業や外国語活動するうえで非常に有力な武器になると思います。自分が英語を一生懸命話すというよりも、そういった機器をいかに有効に活用するかということがこれから先非常に重要なのではないかと思います。教育長も先ほどおっしゃっていましたが、そうした意味で先進地の事案等を参考にしながら活用を考えていくというのは市教委としても取り組んでいくべき一つの大きな課題であると思います。</p>
<p>関教育長</p>	<p>できるだけ早い時期に、その方向性をきちんと打ち出して予算化できるような手当をしていきましょう。</p> <p>他に何かありませんか。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>今度は道徳についてなのですが、道徳の取組はどのくらい進んでおりますか。本当に道徳で5段階評価ができるのかと心配しております。当たり前か当たり前ではないかという評価は簡単にできると思うのですが、道徳をどのようにして5段階評価するかというところで、学校であるいは教育委員会での道徳に対する取組を心配しておるのですが、現状を教えてくださいませんか。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>まず「特別の教科 道徳」ということで、今までは副読本ということで資料がいっぱい載っている本を使ったり、先生が探してきたものを使ったりしておりましたが、この夏に小学校の道徳の教科書採択があり、その教科書を使って道徳をしていくというのが一つです。</p> <p>それから先ほど評価の話が出ましたが、道徳は数値による評価は馴染まないので5段階評価はしません。では、どういうふうに関評価をするかといいますと、文言による評価というようなところだと思います。誰かと比べてこのお子さんよりこのお子さんの方が優れているということではなくて、そのお子さんが道徳の時間を通して色々学ぶ中で、この子の道徳性のこういうところが伸びてきた、例えば挨拶が十分でできなかったお子さんがいるとして、道徳の授</p>

業でも勉強し、体験活動を通して挨拶の重要性に気付いて一年間の中で非常に挨拶の大切さが分かり、誰に会っても挨拶ができるようになったとか、あるいは整理整頓が不十分であったお子さんが整理整頓の大切さを身に付けて一年の終わりにはその部分に改善がみえてきたとか、一人のお子さんの中に視点を定めてその子の成長をみていくというような表記が道德の一つの評価の手法として挙げられると思います。それは現在の総合的な学習の時間の評価や、特別活動の評価と同じようなイメージで、教科のように何ができて1～5で評価をつけるというようなことは行わないという捉え方です。

道德ですけれども、実は全ての道德教育は学校の全教育活動を通じて行うことになっております。ただしその中心となるのが、年間35時間の「道德の時間」と言われるもので、色々な道德的価値をもとにして考えたり、自分を振り返ったり、友達の意見を聞きながら幅広い多様な物の生き方考え方に触れたりしながら自分の道德性を高めていきます。

この道德の価値なのですが、大きく分けて4つの視点があります。一つは主に自分に関することです。例えば根気強さであったり、先ほども言いました整理整頓であったりなどです。2つ目に主として相手と自分との関係ということで、礼儀とか挨拶とか、そういうふうな相手との関係にあるものです。それから3つ目は社会との関係においてです。例えば正義感とか、広く捉えたら男女の協力なんかもあるかもしれませんね。最後の一つは自然とか崇高なものに関することです。大自然を見て畏敬の念を抱くことなどです。そういうふうに自分と相手、社会、それから崇高なもの、この4種類の中の様々な価値、道德的に高い価値がありますが、それらが教科書の中に色々な資料の体系をとって、考えるテーマとして入れられています。そのようなテーマを通して、学んだことを体験活動でより深めたり、逆に体験したことをあの時こんなことを勉強したよねというようなことで道德の時間に深めていったり、そういったことの総合的な繰り返しのなかで「特別の教科 道德」というものを進めていくということになります。そして年度の終わり頃に、それまでの感想文や、この道德の時間に学んだことで学校行事の中で彼の行動に成長がみられたり、その子が特にこの分野で目覚ましい成長を遂げたりというようなことを先生方が評価するということになります。



	<p>道徳は特別の教科になる前から、現在もそのような道徳教育がなされておりますので、あとは評価の方法であったり教科書の取り扱いであったりが変わることになります。新しい学習指導要領では受け身で勉強するのではなく主体的で対話的なそういう深い学びというのが一つの大きな特徴となっておりますことから、道徳においても先生からの一方的な説明ではなく子ども同士が話し合いながら、色んな人の色んな考えを通して、物事の多様性の中から自分の中で価値観、これは正しい、これは良い事だ、というものを磨いていくというのが方向性として非常に大きなものだと考えます。</p> <p>大変長い説明になって申し訳ございませんが、そのようなことで今までの道徳教育にプラスしながら先生方は勉強していただいていると思います。</p>
<p>関教育長</p>	<p>他に何かありませんか。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>今のお話大変参考になったのですが、今回の教科書の採択について、先ほども英語の時にお話があったと思いますが、各教科について指導書があると思うのですが、その指導書を採択前に私達が拝見することはできないのですか。</p>
<p>榎木次長兼教育力向上 戦略監</p>	<p>おそらくまだ作っている最中だと思います。</p>
<p>関教育長</p>	<p>他に何かございませんか。</p>
	<p>それでは、次回の定例会の日程を決定させていただきたいと思 います。</p> <p>来月8月の第一木曜日は3日となりますが、先ほど話にも出て おります道徳の教科書の選定等もありまして、3日ではなかなか 厳しい日程になると思うので、当面10日というかたちで第2木 曜日の日程設定で行わせていただいで、それでも県教委等からの 教科書選定においての色々な調整ができにくい場合にはまたご 相談をするということによろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>

関教育長

8月の定例会は、8月10日木曜日の15時より開催させていただきます。

それでは、これよりは非公開審議に入りますので、関係者以外の方は退席をお願いします。

委員会会議規則第13条の規定により署名する。

委員名

委員名